Kumamoto City
News Release

令和元年（2019年）12月26日

E３ 九州自動車道『北熊本スマートインターチェンジ』開通６ヶ月後の交通状況と整備効果について

E３ 九州自動車道『北熊本スマートインターチェンジ』が平成３１年３月２４日に開通しました。
開通6ヶ月後の交通状況と整備効果について整理しましたので、その結果についてお知らせします。

北熊本スマートICの交通状況

■計画交通量を上回る利用

○**平均： 約4,200台／日**※1**（計画交通量3,600台/日）**

（最大利用： 約4,800台／日（8月休日平均））

○**大型車台数： 約630台／日**※1

※1:R1.9月1日～30日の交通量平均値

開通による効果

■周辺企業の業務効率化、周辺地域の活性化を支援

○周辺工業団地や企業の**物流所要時間が短縮**

○**ドライバー運転時の疲労・負担の軽減**および**働き方改革の支援**

○新たな企業進出など**周辺地域活性化の機運上昇**

■救命救急活動への支援

○安全かつ円滑な搬送による**患者の身体への負担軽減に期待**

○熊本市立病院相互間の**救急医療などの連携強化に期待**

■観光振興への支援

○新たな経路選択肢による観光施設アクセスの案内がしやすくなり、**観光業の振興が期待**

【お問い合わせ先】
熊本市 都市建設局 土木部 道路整備課
電　話：096-328-2484
課　長：今村（いまむら）

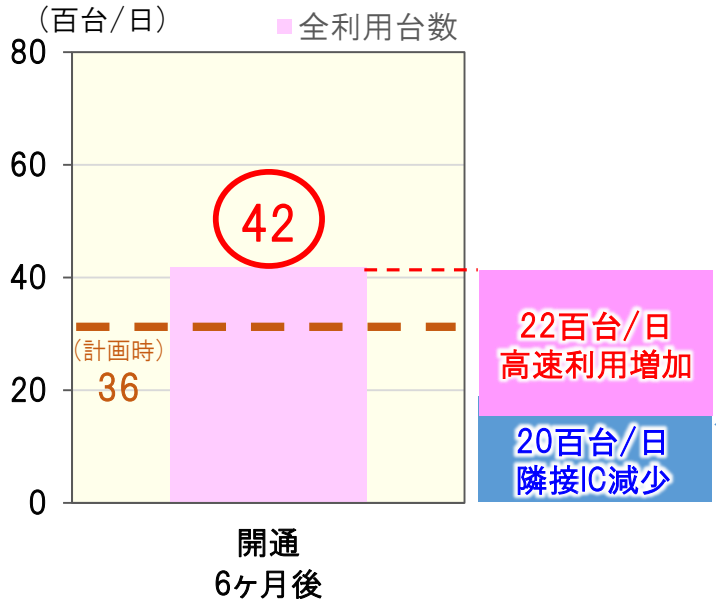
北熊本スマートインターチェンジ開通６ヶ月後の交通状況と整備効果

北熊本スマートＩＣの交通状況の変化

■北熊本スマートIC開通6か月後の利用台数は約4,200台/日
■隣接ICの利用台数は、植木ICが約1,900台/日、熊本ICが約100台/日（合計約2,000台/日）減少
■高速道路の利用が約2,200台/日増加し、利用機会が向上

＜北熊本スマートIC利用台数の変化※1＞

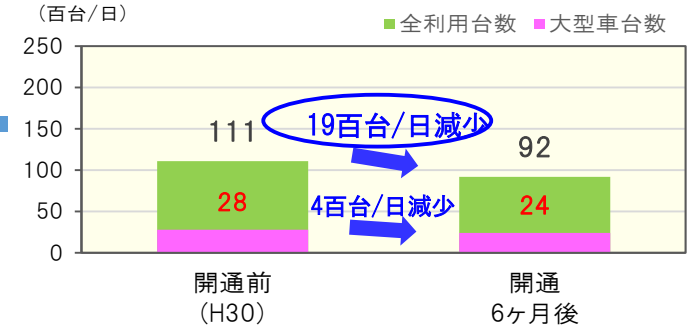
■北熊本スマートIC



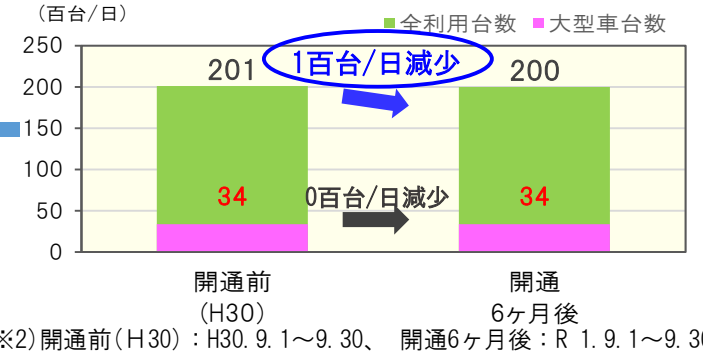
※1)開通6ヶ月後：R 1.9.1～9.30
全利用台数：全日の全車平均

＜隣接ＩＣ利用台数の変化※2＞

■植木IC



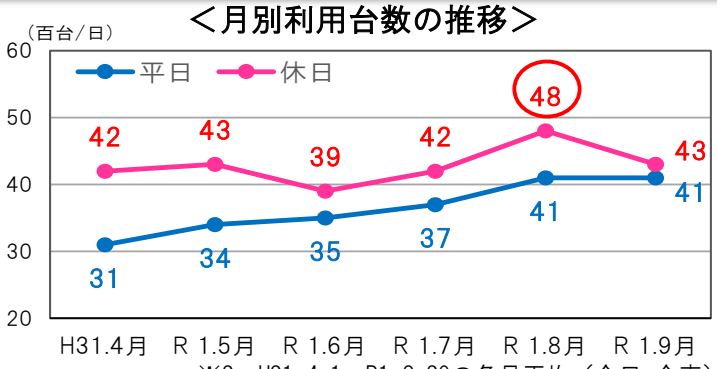
■熊本IC



※2)開通前(H30)：H30.9.1～9.30、 開通6ヶ月後：R 1.9.1～9.30
全利用台数：全日の全車平均、大型車台数： 全日の大型車平均

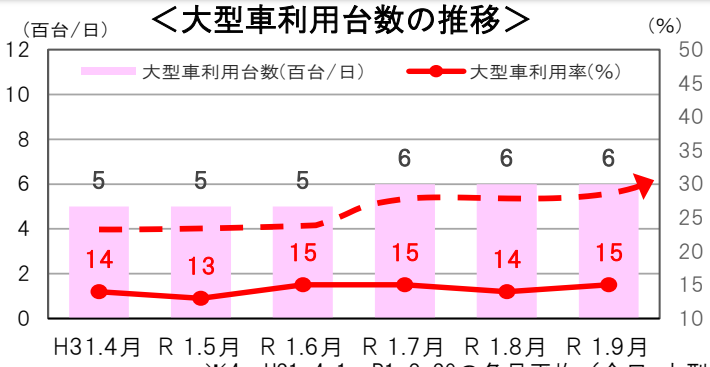
■休日の利用台数が多く、観光シーズンである８月の利用が最多

＜月別利用台数の推移＞



※3：H31.4.1～R1.9.30の各月平均（全日,全車）

＜大型車利用台数の推移＞



※4：H31.4.1～R1.9.30の各月平均（全日,大型）

資料：西日本高速道路株式会社 九州支社

■国道３号(北区役所側)では、大型車が開通前に比べ約100台/日減少

北熊本スマートICの周辺道路

大型車
約100台/日
減少※3

※5) 開通前:H31.2.5(火)
開通後:R 1.9.25(水)の12時間観測値より算出
[7-19時]

資料：交通実態調査結果

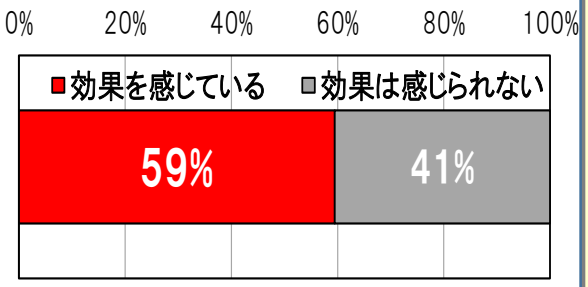
北熊本スマートインターチェンジ開通６ヶ月後の交通状況と整備効果

周辺企業の業務効率化、沿線地域の活性化を支援

■周辺工業団地や企業の**物流所要時間が短縮**
■**ドライバー運転時の疲労・負担の軽減**および**働き方改革の支援**
■新たな企業進出など**周辺地域活性化の機運上昇**

■周辺企業（37社）の6割が効果を実感！

北熊本スマートICの整備は企業活動にとって何らかの効果はありましたか？(N=37)



資料：アンケート調査結果(R1.8月)

■物流の所要時間短縮が発現！

○周辺工業団地などから隣接ＩＣまでの**所要時間が短縮しています。**

	開通前	開通後	短縮時間
蓬原工業団地付近～福岡方面	30分(17時台)	18分(17時台)	12分短縮
リョーユーパン付近～八代方面	24分(17時台)	20分(17時台)	4分短縮

※開通前H31. 2. 1～H31. 2. 28平日平均(17時台)
開通後R 1. 9. 1～R 1. 9. 30平日平均(17時台)

■周辺工業団地～隣接ＩＣまでの所要時間変化

資料：インターナビ・フローティングカーデータ
住友電工ｼｽﾃﾑｿﾘｭｰｼｮﾝ(株),本田技研工業(株)

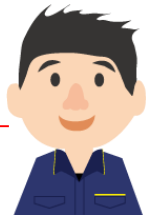
■時間短縮でドライバーの負担が軽減！

○当社は福岡から冷蔵・冷凍食品全般と一部野菜を搬入し、県内外に輸送しており、１日２回（早朝と夜）スーパー等の店舗へ配送しています。
○スマートICの開通で高速道路が利用しやすくなり、配送の移動時間が短縮したことで、**ドライバーの運転時などの疲労・負担の軽減**を感じています。

（R1.9月：企業等ヒアリング調査結果）

■物流企業活動の効率化や企業の働き方改革の支援にも繋がっています！

○当社の顧客はスーパー等の買い物施設で、開店前までに複数店舗を回ります。
○配送の時間短縮のおかげで、会社からの出発時刻を遅らせることが可能となり、**出勤時間が遅くでき、従業員の拘束時間の減少にも貢献している効果を感じています。**



（R1.9月：企業等ヒアリング調査結果）

■周辺地域活性化の機運が高まっています！

○近隣に当社所有の土地があり、これを借りて**新たに企業進出を考えている会社が2社ほどあります。**

（R1.9月：企業等ヒアリング調査結果）

○当社は倉庫業を行っており、米・大豆・雑穀といった穀物類の保管・搬出管理を行っていて、米については県内から集まり、大豆・雑穀については博多港からの搬入が最も多く、搬出について取引先が各地に搬送しています。
○スマートICの整備で、新たに鹿児島県側の取引先ができ、**取引先の拡大に繋がっています。**
○自社所有の隣接した敷地の活用を考えていて、現時点は、**施設の増設を想定しています。**

（R1.9月：企業等ヒアリング調査結果）

北熊本スマートインターチェンジ開通６ヶ月後の交通状況と整備効果

救命救急活動への支援

■安全かつ円滑な搬送による**患者の身体への負担軽減に期待**
■熊本市立病院相互間の**救急医療などの連携強化に期待**

■高速道路活用で救急患者の負担軽減に期待

○重篤患者搬送で、高速道路を活用することにより、一定の速度で走行ができ、**車両の揺れが少なくすみ、患者の身体への負担軽減が期待されます。**

（R1.9月：熊本市消防局ヒアリング結果）

■スマートICを利用した救急搬送の事例

○スマートIC開通後のIC利用救急搬送件数：**合計4件**
①北熊本ｻｰﾋﾞｽｴﾘｱへの救急出動：１件
②北熊本スマートIC⇒熊本IC　：１件
③植木IC⇒北熊本スマートIC　：２件

（R1.9月：熊本市消防局ヒアリング結果）

■熊本市立病院間の救急医療などの連携強化に期待　（転院搬送・救急搬送）

○熊本市民病院が10月に移転開院したことから、転院先として検討しています。
○今後の**熊本市立病院相互の救急医療などの連携強化に資することが期待できます。**

（R1.9月：植木病院 事務局ヒアリング結果）

注)R1.9.1～R1.9.30平日平均(7時台)　資料：インターナビ・フローティングカーデータ

観光振興への支援

■新たな経路選択肢による観光施設アクセスの案内がしやすくなり、**観光業の振興が期待**

関係者の評価

○当施設は年間５万人程のお客様が宿泊されて、他県からは**福岡県や鹿児島県、広島県方面からが多く**なっています。
○**スマートIC供用のおかげで、高速を利用したお客様へのアクセス案内がしやすくなりました。**

（飲食業･宿泊施設）

○当施設は昨年度は年間約51万人が利用されています。
○イベントの企画会社は、**県外の方も呼び込みたいため、スマートICからの案内も考えています。**
○今後ホームページに**北熊本スマートICとのアクセス経路の案内の追加**も検討したいと思っています。

（公園･イベント施設）

○ホームページの施設アクセス案内に**スマートＩＣからの案内を追加更新しました。**

（観光･図書施設）

（R1.9月：周辺施設ヒアリング調査結果より）